



福島県 令和7年度当初予算

令和7年2月4日

《モニター画像 1》

令和7年度当初予算につきまして、発表いたします。

令和7年度当初予算

予算規模

1兆2,818億円

(対前年度比 +437億円)

うち 復興・創生分
2,657億円

2

《モニター画像 2》

一般会計当初予算の総額は、1兆2,818億円であります。
これは前年度比で437億円の増となります。
このうち、復興・創生分として2,657億円を計上いたしました。

令和7年度当初予算

【歳入】 1兆2,818億円

I 県 税	2,452億円
II 地方交付税等	2,491億円
	(うち地方交付税(通常分) 2,104億円 臨時財政対策債 発行なし 震災復興特別交付税 387億円)
III 国庫支出金	2,060億円
IV 繰入金	1,284億円
V 県 債	1,570億円
VI その他	2,961億円

【歳出】 1兆2,818億円

I 義務的経費	3,793億円
II 投資的経費	2,314億円
III 一般行政経費	6,711億円

(注) 金額について、表示単位未満の端数は、記載区分毎に四捨五入している。

《モニター画像 3》

歳入については、県税や地方交付税はもとより、「原子力災害等復興基金」などの各種基金を有効に活用し、必要な財源の確保に努めました。

歳出については、根拠に基づく政策立案の考え方により、徹底した事務事業の見直しに努め、予算編成を行いました。

令和7年度当初予算

- ◆第2期復興・創生期間の最終年度、次期総合戦略の初年度
- ◆震災と原発事故からの復興はもとより、次期総合戦略の下、あらゆる主体と連携・共創し、若者や女性を始め、誰もが活躍できる「福島ならではの」県づくりに向け、「復興・再生」と「地方創生」を両輪で推進
- ◆長期化する物価高騰への対応、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革を推進



《モニター画像 4》

令和7年度は、第2期復興・創生期間の最終年度であるとともに、新たに策定する次期総合戦略の初年度となる重要な一年であります。

このため、当初予算につきましては、震災と原発事故からの復興はもとより、次期総合戦略の下、あらゆる主体と連携・共創し、若者や女性を始め、誰もが活躍できる「福島ならではの」の県づくりに向け、「復興・再生」と「地方創生」を両輪で進めるとともに、長期化する物価高騰にも適切に対応しながら、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革などを推進していく予算として編成いたしました。

それでは、新年度予算の主な事業について御説明いたします。

避難地域における復興の加速化



事業再開への支援



営農再開への支援



地域交流の様子



現地視察の様子

取組内容

- 事業・営農の再開支援
- 移住者の定着支援
- 福島国際研究教育機構（F-R-E-I）と地域との連携促進
- 双葉地域における中核的病院整備の推進
- 廃炉監視体制を強化するため、「原子力安全担当次長」及び「原子力防災課」の新設、「原子力安全対策課」の執行体制強化 など

《モニター画像 5》

はじめに、避難地域における復興の加速化についてであります。

避難指示の解除が進む中、事業・営農の再開や、移住者の定着に向けた支援に取り組むほか、福島国際研究教育機構（F-R-E-I）と地域との連携促進や、双葉地域における中核的病院の整備を進めるなど、避難地域の復興・再生に最優先で取り組んでまいります。

また、廃炉監視体制を強化するため、危機管理部内の関係課室を改編し、「原子力安全担当次長」及び「原子力防災課」を新設するとともに、「原子力安全対策課」の執行体制を強化いたします。

結婚・出産・子育て支援、健康長寿の実現

ひと



「はぴ福なび」の機能向上

保育施設における「遊び」の環境改善

放課後児童クラブの
人材確保支援

新たな「ふくしま
健民アプリ」の開発

取組内容

- 結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の機能向上、婚活イベント参加者等へのフォローアップ
- 若い世代へのプレコンセプションケアの推進
- 遠方での不妊治療に係る通院費用の支援
- 保育施設での「遊び」の環境改善、放課後児童クラブの人材確保支援
- 中央児童相談所の移転改築に向けた取組
- 新たな「ふくしま健民アプリ」の開発 など

6

《モニター画像 6》

次に、結婚・出産・子育て支援、健康長寿の実現についてであります。

結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の機能向上や婚活イベント参加者等へのフォローアップなど、結婚支援を更に強化するとともに、若い世代を対象に将来の妊娠等に備えた健康管理を支援するプレコンセプションケアの推進や遠方での不妊治療に係る通院費用を支援してまいります。

また、保育施設での「遊び」の環境改善や放課後児童クラブの人材確保、中央児童相談所の移転改築に向けた取組など、結婚・出産・子育て支援の充実を図ってまいります。

さらに、健康行動の実践を促すため、新たな「ふくしま健民アプリ」の開発など、「健康長寿県」の実現に向けた取組を進めてまいります。

教育環境の充実

ひと



ICT活用による
個別最適な学びの推進



グループトークの様子
海外留学への支援



ALTによる英語教育の充実



県立高等学校改革に伴う
空き校舎等の利活用

取組内容

- 学校訪問による授業力向上に向けた支援、ICTを活用した個別最適な学びの推進
- 高校生と地域とのつながりを創る取組
- グローバル人材の育成に向けた産学官連携による海外留学への支援
- 外国語指導助手（ALT）の増員による英語教育の充実
- 県立高等学校改革に伴う空き校舎等を活用した、新たな施設整備に取り組む市町村への支援 など

7

《モニター画像 7》

次に、教育環境の充実についてであります。

児童生徒の学力向上のため、学校訪問による授業力向上に向けた支援やICTを活用した個別最適な学びを更に進めてまいります。

また、高校生と地域とのつながりを創る取組のほか、グローバル人材の育成に向けた産学官連携による海外留学への支援や、外国語指導助手（ALT）の増員による英語教育の充実などに取り組んでまいります。

さらに、県立高等学校改革に伴う空き校舎等を活用し、新たな施設整備に取り組む市町村を支援してまいります。

安心して住み、暮らすための環境づくり

暮らし



河川改修の様子

自然災害に備えた防災力強化



防災教育の充実



啓発活動の様子

詐欺等から守る対策



「とも家事」の推進

取組内容

- 除染に伴う仮置場の原状回復の着実な推進
- 自然災害に備えた防災力の強化
- 地域における防災教育の充実や防災アプリの機能強化、企業と連携した防災啓発、消防団への入団促進
- バス・タクシーの運転手確保に向けた取組、ライドシェアの実証支援
- 県民を詐欺等から守る対策の推進
- 「とも家事」の推進、性別による無意識の思い込みへの気づきを促す取組
- 男女共生課を「共生社会・女性活躍推進課」に改称 など

9

《モニター画像 9》

次に、安心して住み、暮らすための環境づくりについてであります。

除染に伴う仮置場の原状回復について、国や市町村と共に着実に進めてまいります。災害に強い県づくりに向けては、自然災害に備えた防災力の強化はもとより、地域における防災教育の充実や防災アプリの機能強化、企業と連携した防災啓発、消防団への入団促進など、地域防災力の強化を図ってまいります。

また、バス・タクシーの運転手確保やライドシェアの実証支援など、市町村と共に地域公共交通の確保に取り組んでまいります。

さらに、県民を詐欺等から守る対策に取り組むほか、みんなで家事をシェアする「とも家事」の推進や性別による無意識の思い込みへの気づきを促す取組に加え、男女共生課を「共生社会・女性活躍推進課」に改称し、女性活躍の推進に向けた取組を強化してまいります。

豊かで持続可能なまちづくり

暮らし



学生による情報発信の取組



家庭や事業所での取組



水素ステーションへの支援



猪苗代湖の魅力発信

脱炭素化の取組推進

ごみ減量の促進

取組内容

- カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素化の取組
 - ・ 情報発信の強化や企業支援による実践の拡大
 - ・ 市町村や事業者と連携したごみ減量の促進
 - ・ 水素ステーション運営や燃料電池トラック導入への支援
 - ・ 次世代太陽電池の普及拡大
- ラムサール条約湿地登録に向けた取組を進めている猪苗代湖の魅力発信
- 土地の適正利用や水源地域の保全を強化するため、「土地水対策室」の新設 など 10

《モニター画像 10》

次に、豊かで持続可能なまちづくりについてであります。

「福島県カーボンニュートラル条例」の下、脱炭素化に向けた情報発信の強化や企業支援による実践の拡大、市町村等と連携したごみ減量の促進や、水素ステーションの運営支援、次世代太陽電池の普及拡大などに取り組んでまいります。

また、ラムサール条約湿地登録に向けた取組を進めている猪苗代湖の魅力を国内外に発信するほか、土地の適正利用や水源地域の保全に係る組織体制を強化するため、復興・総合計画課内に「土地水対策室」を新設いたします。

中小企業等の振興、新産業の創出・集積

しごと



セミナーの様子



企業体験！
若手が活躍！
& 充実の福利厚生



福島大学
県内企業等との共同研究
水素関連技術の研究



ドローン分野での連携

働きやすい職場づくり

県内企業の魅力発信

大学等と連携した
水素関連研究開発

取組内容

- 県内へのオフィス等の立地促進による働く場の創出
- 事業者のキャッシュレス決済導入支援
- 女性の健康づくりなど健康経営に取り組む事業所への支援、若者や女性を始め、誰もが働きやすい職場づくりへの支援の拡充
- 魅力ある県内企業情報の発信
- 県、福島大学、県内企業が連携した水素関連技術の研究開発
- 県内の水素供給体制の構築支援
- ドローン分野での長崎県との連携 など

11

《モニター画像 11》

次に、中小企業等の振興、新産業の創出・集積についてであります。

県内へのオフィス等の立地促進による働く場の創出に加え、消費者の利便性向上と事業者の効率化等に資するキャッシュレス決済の導入を支援してまいります。

また、女性の健康づくりなど健康経営に取り組む事業所への支援や若者や女性を始め、誰もが働きやすい職場づくりへの支援を拡充するとともに、魅力ある県内企業を広く発信することにより、若年層の定着・還流を積極的に推進してまいります。

さらに、福島大学等と連携した水素関連技術の研究開発や県内の水素供給体制の構築支援、ドローン分野での長崎県と連携した取組など、新産業の創出・集積を進めてまいります。

農林水産業の振興

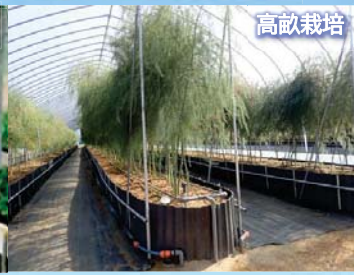
しごと



新規就農者の確保・育成



スマート農業の推進



安定生産技術の開発



水産業への総合的な支援

取組内容

- 新規就農者の確保・育成に向けた取組の推進
- 中山間地域等におけるスマート農業活用モデルの実証、施設園芸へのスマート農業機器等の導入支援
- 温暖化や担い手不足等に対応した安定生産技術の開発
- 水産業の復興加速化に向けた総合的な支援
- 畜産業の飼料価格高騰対策 など

12

《モニター画像 12》

次に、農林水産業の振興についてであります。

喫緊の課題である担い手の確保のため、新規就農者の確保・育成に向けた取組を一層推進するとともに、中山間地域等でのスマート農業活用モデルの実証や施設園芸への農業機器等の導入支援など、スマート農業を更に推進するほか、温暖化や担い手不足等による生産力の停滞に対応した省力かつ安定生産技術の開発に取り組んでまいります。

また、水産業の復興加速化に向けた総合的な支援策を展開するほか、畜産業の飼料価格高騰対策にも取り組んでまいります。

交流・移住の促進

魅力発信・交流促進



首都圏でのセミナー



「ふくしまDC」に向けた
「プレDC」の展開



国際チャーター便の運航促進



1年前イベントの様子

東京2025デフリンピックの
開催

取組内容

- 地域のキーパーソンと連携した首都圏セミナー等の開催やUターンの機運醸成
- 地方振興局による人口減少対策の推進
- 「ふくしまDC」に向けた「プレDC」の展開、観光列車の導入支援
- 国内外との多様な交流の促進
 - ・ インバウンド誘客、国際チャーター便の運航促進
 - ・ 東京2025デフリンピックのサッカー競技開催
 - ・ 大ゴッホ展に向けた機運醸成、県政150周年記念事業 など

13

《モニター画像 13》

次に、交流・移住の促進についてであります。

地域のキーパーソンと連携した首都圏セミナー等の開催やUターンの機運醸成、地方振興局による地域の実情を踏まえた人口減少対策などを推進してまいります。

また、令和8年春の「ふくしまデスティネーションキャンペーン（ふくしまDC）」本番に向け、「プレDC」を展開するほか、会津線・只見線共通のオリジナル観光列車の導入を支援してまいります。

さらに、海外プロモーションによるインバウンド誘客や台湾便を始めとした国際チャーター便の運航促進のほか、東京2025デフリンピックのサッカー競技開催、令和8年から2回にわたり開催する大ゴッホ展に向けた機運醸成や県政150周年記念事業など、国内外との多様な交流を促進してまいります。

風評・風化対策



取組内容

- 根強い風評の払拭と風化の防止に向けた戦略的な対策
 - ・ 企業、大学等との連携・共創による情報発信
 - ・ 首都圏や関西圏等における魅力発信
 - ・ 大阪・関西万博に出展し、復興に向け歩み続ける「福島は今」を発信

など

14

《モニター画像 14》

次に、風評・風化対策についてであります。

企業、大学等との連携・共創による情報発信を始め、首都圏や関西圏等における魅力発信などに引き続き取り組むとともに、大阪・関西万博に出展し、復興に向けて歩み続ける「福島は今」を発信するなど、根強い風評の払拭と風化の防止に向け、戦略的に対策を進めてまいります。

令和7年度 重点プロジェクトの概要

504事業 3,786億円

「復興・再生」の加速		「地方創生」の推進	
避難地域等復興加速化		輝く人づくり	
内容 ① 安心して暮らせるまちの復興・再生 ② 産業・なりわいの復興・再生 ③ 魅力あふれる地域の創造	43事業 650億円	内容 ① 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 ② 健康長寿社会の実現 ③ 教育の充実 ④ 誰もが活躍できる社会の実現	ひと 126事業 164億円
人・きずなづくり		豊かなまちづくり	
内容 ① 日本一安心して子どもを生み、育てやすい環境づくり ② 復興を担う心豊かなたくましい人づくり ③ 産業復興を担う人づくり ④ ふくしまをつなぐ、きずなづくり	ひと 41事業 97億円	内容 ① 安全・安心で魅力的な暮らしの実現 ② 環境と調和・共生する暮らしの実現 ③ 過疎・中山間地域の振興	暮らし 63事業 614億円
安全・安心な暮らし		しごとづくり	
内容 ① 安全・安心に暮らせる生活環境の整備 ② 帰還に向けた取組・支援、避難者支援の推進 ③ 環境回復に向けた取組 ④ 心身の健康を守る取組 ⑤ 復興を加速するまちづくり ⑥ 防災・災害対策の推進	暮らし 79事業 688億円	内容 ① 働き方改革の推進 ② 若者の定着・還流の促進 ③ 中小企業等の振興 ④ 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 ⑤ 農林水産業の成長産業化	しごと 49事業 779億円
産業推進・なりわい再生		魅力発信・交流促進	
内容 ① 中小企業等の振興 ② 新たな産業の創出・国際競争力の強化 ③ 農林水産業の振興 ④ 観光業の振興	しごと 70事業 751億円	内容 ① 移住・定住の促進 ② 交流人口の拡大	33事業 43億円

《モニター画像 15》

以上の主要な事業を含め、令和7年度当初予算における総合計画の8つの重点プロジェクトに係る事業は、504事業で、計3,786億円となります。

福島県令和7年度当初予算

予算額 1兆2,818億円
(うち復興・創生分 2,657億円)

16

《モニター画像 16》

新年度は、第2期復興・創生期間の最終年度を迎えますが、未曾有の複合災害からの復興に加え、急速に進む人口減少や度重なる自然災害、長引く物価高騰への対応など、本県は多くの課題を抱えています。

今後も様々な困難に立ち向かいながら、県民の皆さんが希望を持ち、安心して暮らせる福島を築き上げていくため、全力で挑戦を続けてまいります。